

第8号 (2012年度 前期)

養寿寺だより

発行日 平成24年7月1日
 編集・発行 真宗大谷派 養寿寺
 〒473-0924 豊田市花園町屋敷56
 TEL&FAX (0565)52-4470
 E-mail n-makino@hm.aitai.ne.jp
 ホームページアドレス
<http://www.hm.aitai.ne.jp/~n-makino/>

『天命に安んじて 人事を尽くす』

「ガンバレ」
 教員だった私は、生徒に向かって何度この言葉を使ったことでしょうか。特に、入試目前の生徒には「死にもの狂いで勉強しなさい。迷いも悩みも後まわし。今はガンバレ」と檄をとばしたものでした。効果の程はわかりませんが、生徒全員が違和感なく「ガンバレ」を受け入れていたように記憶しています。「ガンバレ」に「ばん」「ガンバレ後期高齢者」「ガンバレわたし」。今、私たちの社会のあちこちで「ガンバレ」の声援が聞こえます。受験やスポーツなら理解できるのですが、このような「ガンバレ」の大合唱で大切なことが見失なわれてしまうのではないかと、「ガンバレ」を連呼してきた私ですが少し危惧しています。そもそも『ガンバレ』とは自分の思いを頑なに通そうとする意味の「我を張る」から転用され、努力する意味がある時期から加わっていったものだと思います。ですから、古くからある美しい日本語に類するものではありません。ともあれ今は一般的に「ガンバレ」とは努力すること、もちろん尊厳のことです。努力は目標達成や夢の実現にとって一番必要なことです。少なくとも努力を続けることで目標や夢に近づきます。ただし、だからといって「ガンバル」ことでそれがかなえられるというわけではありません。目標や夢が大きければ大きいほどいくら努力してもかなわぬことはあるものです。例えば、オリンピック出場者の多くはメダルをとることが目標だと言います。でも、メダルを獲得できる人はほんの一



〔花園在住 樹神昭二さん作〕

握りです。だからこそ喝采をあびるのです。そしてメダルを勝ち取った選手はよくこんなことを言います。「あきらめず努力すればきっと夢はかないます」と。これを聞いた時に、ひねくれ者の私は「あなたはスゴイ人だけれども、それはちょっと言いすぎです」と思わずつぶやいてしまいます。考えてみますと、私たちは一つまた一つと夢をあきらめながら年齢を重ねてきたのではないのでしょうか。確かに夢をあきらめず追いかけるのはすばらしいことです。しかし、夢をあきらめるのはそんなに悪いことだと言えるのでしょうか。
 『諦める』の『諦』の漢字には「明らかにする」の意味があります。『諦』は真理でもあるのです。自分の力ではどう努力しても達成できないと判断するのは冷静な分析でもあり、まさに『明らかにするの諦める』です。見方をかえれば、「夢をあきらめる」とは努力すべき方向をより実現可能な方向へと変えていく合理的な決断にほかなりません。

お寺にかかわっていただいている人の中には、悲しみや悩みで気持ちがふさがちの方が多くおられます。そのような方々に対してはむしろ『諦める』ことの大切さに注目していただきたいのです。私たちがどのような状況で生まれてくるのか。どのような人と出会うのか。また、生きていくと病気にもなります。病気の中には治らない病気もあります。さらに、生きていけば必ず老いていきます。悲しいことです。若さや美しさも少しずつ失われていきます。また、大切な人との死別もあるでしょう。そして、自分もやがては死んでいくことになります。私たちが生きていく上で身に降り注いでくる様々な問題は、私たちの努力で解決できるのでしょうか。「ガンバル」ことによって逃げるきれでしようか。残念ながらできないものがたくさんあります。その時にこそ、『諦める』ことが求められると私は思います。目の前に受け入れられないという出来事も時には起きるでしょう。その時、自分の思いとはかけ離れたその状況が変わるのであれば、より良い方向にかえていけるよう「ガンバル」べきです。その一方で、いくら努力しても改善できない時に「こんなはずではなかった」などと嘆いていても絶望の中からいつまでもぬけることはできません。親鸞聖人の教えをいただくもののあるべき心の有り様を『天命に安んじて、人事を尽くす』とおっしゃった方がおられます。順境だけでなく老・病・死などの逆境も天命としてありがたくいただくというのです。ただし、努力によって変えられる部分はその他にも意外に多く残っています。だから天命に安んじた後には人事を尽

くすのです。不治の病だとお医者さんから言われても、宗教の力で病気が治ると真剣に信じている人もいます。この方のお気持ちはわかりますが、親鸞聖人の教えをいただく私どものお寺ではこれを宗教とはみなしません。不治の病をかかえながらも、残された時間を生き生きと生きていくことができるよう心のよりどころとするのが本当の宗教だと私もは考えます。



〔愛別離苦は耐え難き悲しみなり〕

私たちの身に起こる様々な難問。これが受験生やスポーツ選手のように乗り越えていくべき課題であるならば「人事を尽くして、天命を待つ」のです。しかし、悲しみや悩みの闇の中にならば、勇気を持って天命に安んじていくことのほうが生きることの充実につながるかもしれません。限りあるいのちを少しでも生き生きと生きていくために、明らかに見ると言いつ意味で『諦める』ことを取り入れてみてはいかがでしょうか。
 (養寿寺住職)

アジアの仏教国を訪ねて(2)

横尾 明親



〔略歴〕
真宗大谷派教師
現在は龍谷大学大学院で仏教を研究するがたわら仏教国を訪れている。

釈尊の道を探る スリランカ

仏教は、約二千五百年前に北インドで生まれました。シャカ族の王子であったゴータマ・シツダールタ（釈尊）が出家して覺りを開き、その教えを人々に伝えたのが起源です。

それから長い時をかけて、アジア各地に伝わり世界三大宗教といわれるようになりました。北インドから西北のパキスタン・アフガニスタンからシルクロードを経て中国に伝わり、そこで漢訳されて朝鮮や日本に伝来した仏教が、北伝仏教と呼ばれます。

北インドから西・南インドを経て、海を渡ってセイロン島に伝わり、その後東南アジア各地に伝わったのが南伝仏教と言われます。

その南伝仏教の中心地が、スリランカ（旧名セイロン）です。上座仏教（小乗仏教とも言われます。）は、釈尊が修行されていた当時のスタイルや戒律を守り、また、釈尊が話されていた当時の言葉に近いパーリ語で経典が伝えられています。スリランカの僧は、茶色の袈裟に



〔高僧の法話の様子〕



〔個人宅での法要〕



〔僧への布施（食事）〕

なく、僧侶になると生涯をお坊さんとして過ごします。そのため、沙弥（見習い期間）の間に、自分に向かないと還俗する子どももいます。釈尊が歩まれた道を、後を次いで進めようとする姿には、感動するものがあります。

身をつつみ鉄鉢だけを持ち（三衣一鉢）、經典学習と瞑想修行に励んでいます。日本の僧と違って、恋愛や結婚もしませんし、家庭も持ちません。

その日常は、二二七の戒律によっており、食事は午前中のみで午後には飲み物しか取りません。また、無所有・乞食が原則で、在家者（檀家）の布施によって成り立っています。

私がいつも滞在を許されているのは、コロンボ近郊にある大きな寺院で、比丘と沙弥（見習僧）を合わせて約五十人が修行しています。

その一日は、朝四時半に起き五時から法要、瞑想、掃除をすませ、七時から檀家さんが持参する布施（食物）の朝食、学習、午前十一時に昼食の布施があり、午後は、經典やパーリ語、サンスクリット語の学習・瞑想が続きます。

夕方の法要の後に、檀家さんが持参する飲み物をいただき、また、十時頃に寝るまで自習や読誦の練習が続きます。その間に、在家者からの依頼による法要（ブージャ）や儀礼（ピリット）が、僧によって執り行われます。

また、僧を自宅に招いて法要をしたり、食事を布施することが頻繁にあり、毎朝寺院には迎えに来る車があります。（戒律で、僧は車の運転や自転車も乗れません。）

現在のスリランカでは、托鉢をすることは少なく、森林僧や一部の比丘の修行としてのみ行われています。僧侶になる修行は十歳頃から始まり、親元を離れて頭を丸めて僧院に入ります。二十歳を過ぎて經典学習が進むと、具足戒を正式に受けて一人前の比丘になります。

わが町のヒーロー(2)



〔寺田勝芳さん〕

十八年間の奉仕活動

寺田勝芳さん

花園町の区民会館前に地域住民のためのゴミ回収場所があります。ボランティアで十八年もの間、この場所でゴミの分別指導や補助をされてきたのが、花園在住の寺田勝芳さんです。会社を定年退職された後、有志数名で地域のために何か貢献をしようとしたのがきっかけだったそうです。十八年間、収集日には必ず夜明けとともにゴミ集積場所に向き、ゴミの種類は適切か、場所を間違えてないかなどを見守りながら、時には勝芳さんご自身が不適切ものをゴミ袋から出して分別しなおすこともされてこられました。地域のために役立っていることの充実感に加えて、時々周囲の方から「苦勞様」とか「ありがとうございます」とやさしく声をかけてもらうのがうれしかったとのことだそうです。

昨年末に急に体調を崩され三ヶ月ほど入院されました。七十八才のご高齢であることから、退院後このボランティア活動をご卒業されました。「地域のためとはいえ本当にすばらしいご貢献でしたね」と申しあげると、少し照れくさそうに「なあに、たいしたことはないよ」とさりげなくお答えになる勝芳さんは紛れもなくわが町のヒーローでありました。



〔資源ゴミ回収の様子〕

「なあに、たいしたことはないよ」とさりげなくお答えになる勝芳さんは紛れもなくわが町のヒーローでありました。

養寿寺座敷建築工事 進ちよく状況報告



養寿寺座敷の建築工事は、本年四月より始まりました。設計は古久根建築設計さん、建築工事は入札の結果、大英建設さんをお願いいたしました。工事は順調に進んでいます。また、座敷を解体していく中で明治二十五年



に座敷を建てたということが書かれた柱が出てきました。修復はされているものの百年以上もむかしの建物であったとは寺の住職でありながらまったく知りませんでした。耐震の観点から建物の土台を整備しました。近隣にお住まいの方々には土台工事の間いろいろご迷惑をおかけしました。みなさまのご協力にこの場をかりて感謝申し上げます。なお、完成は本年十月中旬を予定しております。

お寺でラジオ体操 実施要項



花園のお寺（養寿寺）主催 お寺でラジオ体操

- (1) 目的： ・早朝のラジオ体操を通じて生活のリズムをとらう。 ・小さいお子さまに地域のお寺に親しみをもってもらう。
- (2) 場所： お寺の庭（養寿寺境内） ただし、雨の時は本堂
- (3) 期日： 8月22日木、23日木、24日金、25日土（4日間）
- (4) 内容： ① 6時25分にお寺に集合
② 6時30分より ラジオ体操（第一のみ）
③ 体操終了後、本堂でお経の練習（10分）
④ 出席カードに判を押して解散
⑤ 午前7時までは必ず終了
* お経の練習は自由参加
- (5) 申し込み： 参加希望の方は養寿寺まで電話でご連絡ください。 電話（0565）52-4470（お名前だけで結構です。）
- (6) その他： ① 保護者の方の付き添いは不要です。 おじいさんおばあさんなど大人の方の参加も大歓迎です。
② 交通事故には十分注意してください。
③ 暴風雨警報など警報が発令されたときは中止します。
④ 棒ジャースが毎回ごほうびとしてされます。



平成二十四年度 養寿寺 組織一覽表

【敬称略】

住職（代表役員） 牧野 直人
 坊守（責任役員） 牧野千珠子
 前坊守 牧野 友子
 総代（責任役員） 樹神 五矢
 総代 樹神 守

高岡組門徒会

樹神 守
 寺田 勲
 高田 光秋
 樹神 康久

仏教世話方（◎は代表）

男性 ◎ 野々山舜詩

樹神 豊彦

樹神 光夫

柴田 勝彦

女性 ◎ 樹神 初美

松原 純子

樹神 玲子

樹神あさみ

坪内 薫

樹神 清治

中島 守

池田全輝夫

樹神真寿美

野村とし子

寺田 敦子

寺田 純子

同朋会世話方（◎は代表）

◎ 寺田 佐和

樹神 富子

寺田 里海

稲垣 道子

小山 節子

寺田すま子

仏花係 樹神 藤男

樹神 昭二

（順不同）

仏教世話方の任期は二年です。仏事や仏教に親しんでいただくとともに、地域社会とのつながりや役員同士や地域の方との親睦を深めながら、有意義な役であるよう養寿寺として努力していきます。



〔花園仏教世話方会の協力〕



〔本年度 世話方会のみなさま〕

平成二十四年度 年忌 早見表

一周忌	平成二十三年（逝去）
三回忌	平成二十二年
七回忌	平成十八年
十三回忌	平成十二年
十七回忌	平成八年
二十回忌	平成二年
二十七回忌	昭和六十一年
三十三回忌	昭和五十五年
三十七回忌	昭和五十一年
四十三回忌	昭和四十五年
五十回忌	昭和三十八年

年忌法要のことはもとより、ご自宅の仏壇のこと、お布施のことなどご相談いただくことも仏教に触れていただくことに通じると思いますが、遠慮なくご相談ください。

電話（〇五八五）五二一四四七〇

昨年十二月から今年五月までの 主な行事ご報告

一・除夜の鐘撞きならびに修正会

地域のみなさんにお寺に親しみを持っていただくことを目的に除夜の鐘撞きを大晦日の夜に行いました。本年度も記念品として養寿寺クッキーをお渡ししましたが、多くの方が訪れ、一時間ほどで五〇〇人分がなくなってしまうました。また、一月一日午前〇時より本堂で修正会のお勤めを行いました。



〔除夜の鐘〕



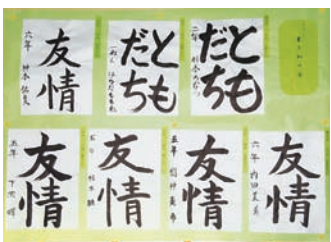
〔修正会〕

二・書き初め会

一月四日、小学生を対象に書き初め会を養寿寺庫裏で行いました。参加者は真剣に書き初めに取り組んでくれました。



〔書き初め会の様子〕



〔書き初め会の作品〕

三・蓮如忌 三月二十四・二十五日

御志納額は四十九万七千円

一年前の蓮如忌に比べ参詣者数と御志納額は若干増えています。さらなる充実を目指してまいります。

お寺で行うそれぞれの仏事の特徴を出していくために蓮如忌はこの二年ほど、プロの落語家に落語を披露していただいています。楽しみながら真宗の教えや仏教に触れていただくことを

踏まえ笑福亭仁智師匠に演目『親鸞聖人』をお話していただきました。通常の説教よりも親鸞聖人の御生涯がよくわかったと多くの方から好評をいただきました。来年度も落語を取り入れていきたいと思っております。



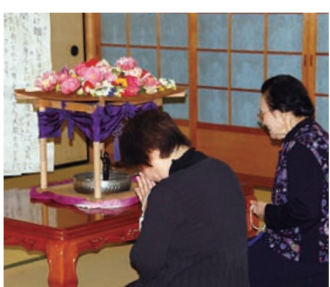
〔法要の様子〕



〔法要の様子〕

四・花まつり

本年度は四月六日に行いました。花園町「ふれあいクラブ」の方々を中心に三十五名ほどの参詣をいただきました。仏教を身近に感じただけにとともに、甘茶と抹茶をお出しし、楽しいひとときを過ごしていただきました。



〔落語“親鸞聖人”〕



〔法要の様子〕

五・春の法話会

五月八日（火）恒例の春の法話会を行いました。講師は伊奈祐諦先生で、六〇名の方にお参りいただきました。また、仏教世話方（女性）には仏具の『おみがき』をおこなっていただきました。



〔お釈迦様誕生の像〕

〔伊奈祐諦先生のお話〕



『養寿寺ホームページ』でも過去の掲載分も含めてご覧いただけます。

養寿寺山門横に、伝導掲示板があります。その黒板に、「今月のことば」を書かせていただいております。前任職の時代からのものなので、もう二〇年以上も続けていることとなります。生き方のヒントになればという願いで、ご紹介しております。ありがたいことに、時々立ち止まって眺めておられたり、メモをとっている方もみえます。なお、『養寿寺ホームページ』

今月のことば
～伝導掲示板を～らんくください～



六月三日(日)名古屋のしらかわホールで行われたコンサート『親鸞』に養寿寺花園コーラスグループから養寿寺坊守と四名の方が参加されました。参加者の方から「本格的なコンサートに参加してたいへん感動した。」「すばらしい思い出になった」とのことでした。

樹神詔子さん
樹神美智子さん
小山節子さん
鈴木幸子さん
養寿寺坊守

六. コンサート『親鸞』に参加

六月三日(日)名古屋のしらかわホールで行われたコンサート『親鸞』に養寿寺花園コーラスグループから養寿寺坊守と四名の方が参加されました。参加者の方から「本格的なコンサートに参加してたいへん感動した。」「すばらしい思い出になった」とのことでした。



真宗大谷派は
戒名ではなく
法名です。

【質問】人が亡くなったときに住職さんにつけていただく戒名とはなんですか。

【回答】まわりくどくて申し訳ありませんが、この質問には二つの間違いがございます。一つは、私も浄土真宗では、戒名と言わず法名(ほうみょう)といっております。もう一つは、この法名は必ずしも人が亡くなったときだけにおつけするものではありません。

いずれにせよ仏弟子としての名です。ところで戒名の戒は、戒律(かいりつ)の戒に由来します。厳しい戒律を守ることが私たちにできないという真宗の教えに基づき、問題の多い私たちでも仏弟子として仏道を歩むことはできるはずだということで戒名ではなく法名をつけさせていたたいております。原則、法名について名前をつけただけでお礼をいただくことはありません。ただし、院号については宗門に対しご貢献された方に(現在では八万円以上の御志納)本山から下付されるものであるとご理解ください。また、本来、仏弟子となるのは生きていたる時はずです。仏式の葬儀を行う時に仏弟子としての名前をとというのは僧侶側の説明努力不足の面があります。現実には徹底されていませんが、生前、帰敬式(ききょうしき)を受け、法名をいただくというのが望まれるものです。

仏事にまつわるエトセトラ《2》

【平成24年度 12月までの主な予定 ご案内】

8月7日～9日 暁天講座 (朝5時45分～7時00分、3日間の参加料 ¥1,000)

7月初旬までの申し込みは養寿寺まで電話でお願いします。
Tel 52-4470



〔暁天講座〕

- 8月7日(火) 法話 講師 西尾市 本澄寺住職 柳野明仁 先生
- 8日(水) 法話 講師 豊田市 弁護士 土面尋志 先生
- 9日(木) 法話 講師 同朋大学 准教授 安藤 弥 先生



〔ラジオ体操〕



〔永代祠堂法要のお齋〕



〔報恩講〕



〔本山団体参拝と研修旅行〕



〔仏教講座〕

- 8月22日～25日(4日間) お寺でラジオ体操 と お経(おつとめ)の練習 (朝6時30分～) 参加無料
- 9月6日(木) 花園仏教会世話方会主催 秋の法話会 講師 岡崎市 本宗寺住職 堀田 護 先生
- 9月22日(土) 養寿寺 永代祠堂法要 該当の方にはお寺より詳細と出欠席確認のハガキをお出します。
- 10月3日(水) 同朋会主催 秋の法話会 講師 西尾市 安楽寺住職 伊奈祐諦 先生
- 10月26日～28日 報恩講
 - 10月26日(金) 午後のみ 勤行 法話 講師 養寿寺住職
 - 10月27日(土) 午前と午後 勤行 法話 講師 三重県 正實寺住職 藤本愛吉 先生
 - 10月28日(日) 午前 勤行 法話 お齋(とき=昼食(庫裏にて))あり
 - 午後 音楽法要 法話 午前午後とも 講師 京都府 作家 和田真雄 先生
- 11月28日～29日 高岡組門徒会主催 東本願寺参拝と研修旅行(1泊2日 参加費25,000円)
詳細はお寺のホームページに掲載 問い合わせなどは電話(0565-52-4470)まで

【基礎からの仏教講座】 場所：養寿寺庫裏 日時：毎月最終日曜日 夕方6時55分より約1時間 参加無料
7月29日(日)／8月26日(日)／9月30日(日)／11月25日(日)／12月23日(日)